



埼玉県マスコット
「コバトン&さいたまっち」

埼玉県人事委員会事務局 任用審査課 採用試験担当

〒330-9301

さいたま市浦和区高砂3-15-1 (県庁第二庁舎3階)

TEL 048-822-8181

MAIL a6402-10@pref.saitama.lg.jp

HP <https://www.pref.saitama.lg.jp/f1903/saiyou>



埼玉県職員募集

設備職

総合土木職

建築職

MAKE MY

Future In SAITAMA



彩の国 埼玉県



設備職

県有施設の電気設備や機械設備等について、設計から工事の発注、施工監理や保安全管理に至る業務を担っています。また、産業技術に関する試験・研究や、浄水場・下水処理施設の運転管理などを行っています。

都市整備部

県有施設の設備工事の設計、積算、発注・契約及び施工監理を行っています。

また、費用対効果を考慮しつつ、環境、防災及びユニバーサルデザインに配慮した安全・安心な施設の整備を推進しています。

産業労働部

産業技術総合センターでは、分析・測定や研究開発などにより中小企業の技術開発や製品開発を支援しています。また、計量検定所では計量法で定める種類の計量器の検定や定期検査、計量相談や計量思想の普及に関する業務を行っています。

企業局

県内5つの浄水場の運転管理業務や場内施設の点検・修繕等の保守管理業務を行っています。
河川水を浄化し、市町等を通じて県民の皆様へ安全・安心で良質な水道水を安定供給しています。

下水道局

県内9つの水循環センターやポンプ場等の電気・機械設備の設計、施工管理を行うことで、下水処理を円滑に進め、県民生活を支えています。
また、下水汚泥を活用したバイオガス発電事業等、温室効果ガスの削減に取り組んでいます。



総合土木職

計画の策定から工事完成までの一連の業務にプロジェクトの担当者として携わることができます。また、道路、河川、都市計画、下水道及び農地・農業水利施設等の幅広い分野でキャリアを積むことができます。

県土整備部

県民生活に欠かせない社会資本である道路や河川の計画、設計、建設、維持管理を行っています。また、台風や大雪などの災害時における危機管理対応のほか、被災した道路や河川等の災害復旧業務を行います。

農林部

農業用の用排水路・用排水機場等（土地改良施設）の整備や災害復旧、農地の区画整理などを行っています。また、農業・農村が有する防災機能や環境保全機能などを維持・発揮するための地域活動の支援を行っています。

都市整備部

人口減少・超高齢社会の同時進行などの課題に対応するため、都市計画の推進や、自然・歴史・文化等の地域資源を生かした県営公園の整備など、「住み続けられるまちづくり」に取り組んでいます。

企業局

安全・安心で良質な水道水を供給するため、県内5つの浄水場の維持管理や大規模送水施設整備等の設計施工管理を行っています。
また、市町等と連携し、産業団地の造成工事の設計施工監理を行っています。

下水道局

安全で快適な生活に資する円滑な下水処理のため、県内9つの水循環センターや下水道管等（公共土木施設）の設計、施工管理を行っています。老朽化対策のほか、大規模地震や豪雨災害対策として施設の耐震化・耐水化に取り組んでいます。



建築職

県有施設の設計から施工監理までの営繕業務、マンションや県営住宅に関する住宅行政、建物の安全・安心を守る建築行政、まちづくりに関する都市計画など、建築に関する知識や経験を生かして幅広い業務を行います。



都市整備部（営繕課、住宅課、営繕・公園事務所等）・総務部（管財課等）等

営繕・住宅行政

県有施設の新築や改修工事について、設計、積算、発注・契約、施工監理を行います。また、住宅行政の総合的企画や住生活基本計画に関すること、マンション管理の適正化の推進、県営住宅の整備や建て替えなどにも取り組んでいます。

都市整備部（建築安全課、建築安全センター）

建築行政

建築基準法に基づく建築確認等の許認可や建築パトロール・指導等を行い、建築物の安全・安心の確保に取り組んでいます。また、災害に備えた耐震化の促進事業や市町村が行う空き家対策の支援などにも取り組んでいます。

都市整備部（都市計画課、市街地整備課）

都市計画

都市計画法に基づく開発許可、市街地再開発事業に係る許認可、市町村が行う立地適正化計画策定の支援など、まちづくりに関する業務に取り組んでいます。また、良好な景観を生かしたまちづくりの推進や住宅密集地の改善による災害リスクの低減などにも取り組んでいます。

さいたまスーパーアリーナの整備

さいたまスーパーアリーナは、日本最大級のアリーナ施設として、国際的なイベントを多数開催している埼玉県を代表する大規模施設です。開館から20年以上が経過した現在でも、高い稼働率を誇っていますが、電気・空調などの各種設備の老朽化が課題となっています。また、多くの設備で構成されているため、計画的な整備が必要です。埼玉県では、さいたまスーパーアリーナが最先端の施設であり続けられるよう、機能性の向上や省エネ化などに考慮して施設整備を行っています。



都市整備部 設備課
企画・設備技術・大規模担当 技師

吉田 純 yoshida jun



異動歴

平成29年4月採用	危機管理防災課 消防防災課 防災情報無線担当
令和2年4月	県民生活部 スポーツ振興課 総務・施設担当
令和4年4月	県民生活部 スポーツ振興課 スポーツ施設担当(組織変更)
令和5年4月	現所属

この事業のやりがい、魅力について

さいたまスーパーアリーナには、客席や天井などが可動するムービング・ブロックシステムなど大規模施設にしかない特殊な設備が多く、ここでしかできない経験を積み、知識を得ることができます。

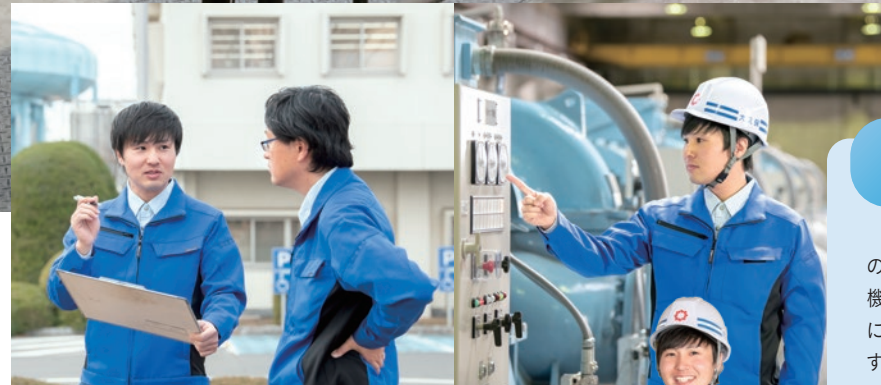
また、設計から竣工までの一連の業務に携わることで、自身の努力やアイデアを反映した成果が形として残るため、非常にやりがいと魅力を感じます。特に、施設の管理者や利用者から「工事のおかげで施設がより良くなったよ」と喜びの声が届いた際は誇らしく思いました。

水インフラの電気設備・機械設備の工事

水道は、県民の生活に欠かせない重要なライフラインです。災害時や河川の水質異常時にも断水することなく、安定して水を供給し続けることが求められます。そのため、浄水場の運転管理業務だけではなく、場内施設の修繕・更新工事も重要な業務です。将来にわたり安全・安心な水インフラを維持していくため、浄水場では様々な電気設備や機械設備の修繕・更新工事を行っています。



撮影：大久保浄水場



この事業のやりがい、魅力について

全国で4番目に大きい規模を誇り、埼玉県の基幹浄水場である大久保浄水場で、主に機械設備の維持管理を担当しています。特に印象に残っている業務は、浄水場に導入する高度浄水処理施設の設計に携わったことです。将来的に長く使えるようイメージを膨らませ、また関係者と何度も協議を重ねて形にいくことにやりがいを感じました。

生活に必要な不可欠な水道水を作ること、他にはない魅力だと自負し、安全で安心な水道水をお届けするために日々奮闘しています。

企業局 大久保浄水場
(機械施設部) 機械施設担当 主任

山口 大器 yamaguchi taiki



異動歴

平成27年4月採用	企業局 大久保浄水場 (機械施設部) 高圧ガス施設担当
平成30年4月	企業局 新三郷浄水場 (技術部) 技術第一担当
令和3年4月	現所属

越谷レイクタウン・ 大相模調節池のにぎわい創出



大相模調節池は、大雨の際に一時的に水を溜めて、河川の氾濫を防ぐための施設です。
普段は広大な水面と緑が調和した公園施設として地域の方から親しまれています。
近隣には、日本最大級のショッピングモールである「イオンレイクタウン」があります。
埼玉県では、大相模調節池の更なるにぎわいを創出するため、
越谷市、イオンモール株式会社、地元のまちづくり会社、地域住民の方と連携し
商業施設と一体の水上デッキや水辺のアクティビティで使用する栈橋の整備を進めています。



県土整備部 河川環境課
河川環境担当 技師
郡司 柚香 gunji yuka

異動歴

平成31年4月採用 県土整備部 越谷県土整備事務所 道路施設担当
令和4年4月 現所属

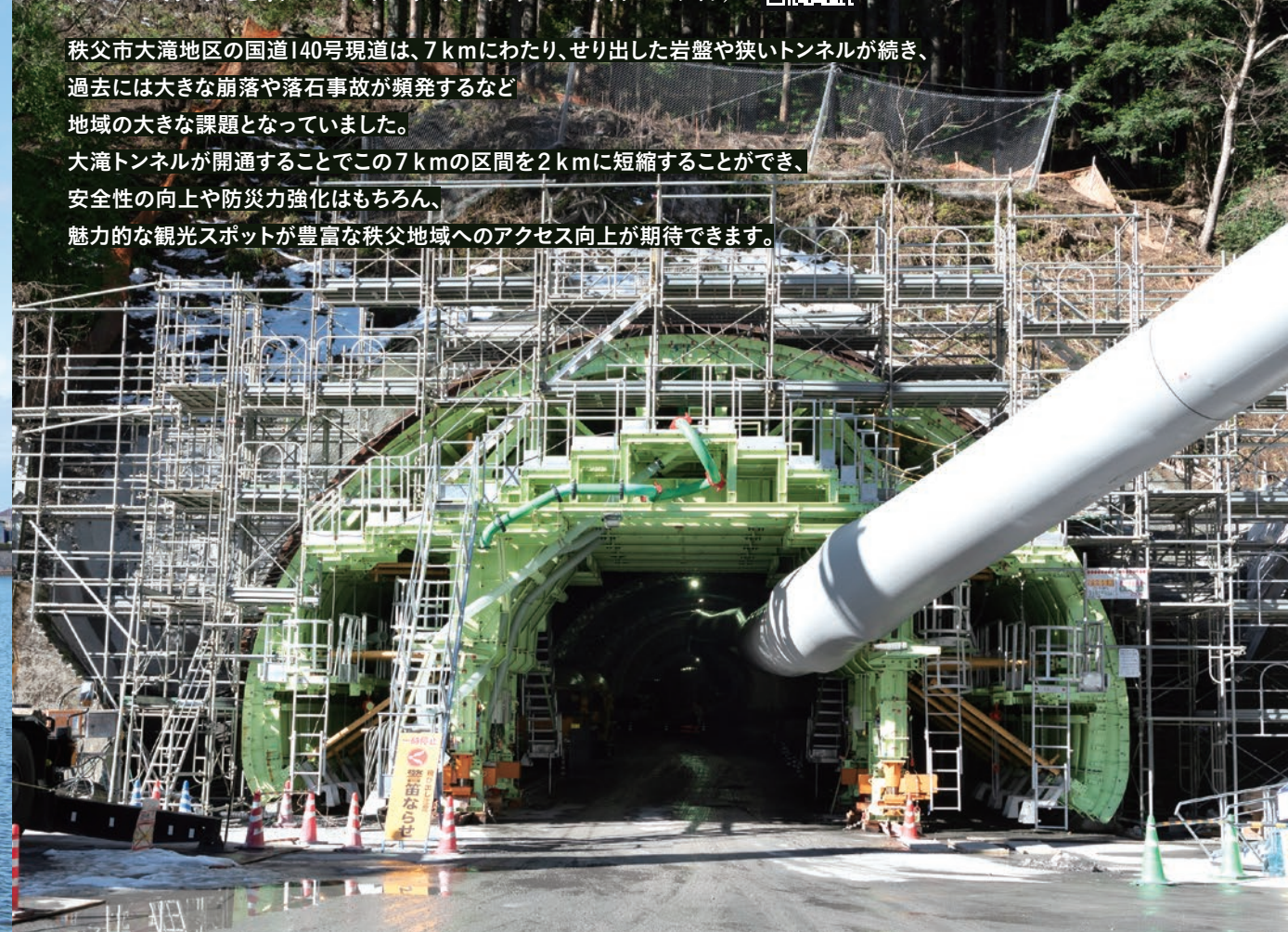
この事業のやりがい、魅力について

越谷レイクタウンでは、調節池に張り出すデッキを埼玉県が整備し、その上に民間事業者が商業施設を整備するという全国でも珍しい事業を進めています。
民間事業者のアイデアやノウハウを、いかに埼玉県の事業に取り込み実現していくのかを学び、官民協働の事業に携わっていることに、やりがいを感じます。また、県民の皆様へ事業を分かりやすく伝えるため、自ら提案したバーチャル空間を活用した新たなPRにも挑戦し、「伝える」スキルが向上しました。

大滝トンネルの整備 (地域高規格道路 西関東連絡道路)



秩父市大滝地区の国道140号現道は、7kmにわたり、せり出した岩盤や狭いトンネルが続き、過去には大きな崩落や落石事故が頻発するなど地域の大きな課題となっていました。
大滝トンネルが開通することでこの7kmの区間を2kmに短縮することができ、安全性の向上や防災力強化はもちろん、魅力的な観光スポットが豊富な秩父地域へのアクセス向上が期待できます。



この事業のやりがい、魅力について

大滝トンネル整備事業は、埼玉県と山梨県の人やモノの交流を円滑にするための事業です。住民説明会でも完成を待ち望む声を数多くいただいており、強い責任感と規模の大きな事業に携わっている誇らしさがあります。
トンネル工事は、一般的な土木工事とは施工方法等が大きく異なります。大滝トンネル整備事業に携わったことで、専門性の高い技術を学ぶことができ、貴重な経験を積むことができました。引き続き、住民の皆様の安全で快適な生活を守り、アクセスの強化と地域の活性化が図れるよう、全力で取り組んでいきたいと思っています。

県土整備部 西関東連絡道路建設事務所
建設担当 技師

宮城 智文 miyagi tomonori

異動歴

平成28年4月採用 県土整備部 秩父県土整備事務所 道路環境担当
平成31年4月 県土整備部 道路街路課 橋りょう担当
令和4年4月 現所属



ソニックシティホール棟の整備



ソニックシティホール棟は開館から30年以上が経過し、施設の老朽化対策や利便性の向上のため、客席や内装、舞台床面の更新、外壁や屋根の改修などの大規模改修工事を実施しました。あわせて、地震時における安全性の向上を図るため、大ホール、小ホールなどの耐震改修工事も行い、施設をより安全・安心に使用できるようになりました。今後も埼玉県産業及び文化の拠点として、ここでしか味わえない感動を多くの方々に感じてもらえるよう施設整備を進めていきます。



都市整備部 営繕課 大規模施設担当 主査
井野 知浩 ino tomohiro

異動歴

平成18年10月採用	都市整備部 建築指導課 震災対策・福祉のまちづくり担当
平成21年4月	都市整備部 住宅課 団地再生・保全計画担当
平成23年4月	都市整備部 住宅課 住宅経営担当(組織変更)
平成24年4月	都市整備部 越谷建築安全センター 建築確認担当
平成27年4月	都市整備部 営繕課 県営住宅建築担当
平成30年4月	都市整備部 川越建築安全センター 建築安全担当
令和3年4月	総務部 管財課 営繕担当
令和4年4月	現所属

この事業のやりがい、魅力について

ソニックシティホール棟は、国内屈指の規模を誇る大ホールなどを有し、数多くの方が利用する埼玉県を代表する公共施設です。そのため、大規模改修工事が完了した際には、建築分野の観点から埼玉県に貢献できたという満足感や達成感を得ることができました。

今回の工事では、工事上の各種制約の解決や効率化などを目的に、工事着手前の現地調査において3Dスキャンや360°カメラを活用するなど様々な新しいICT技術を導入しました。建築分野における最先端技術にいち早く触れるという非常に貴重な経験ができました。

建築行政 (建築指導、震災対策など)



建築基準法等に基づき、安全で環境に配慮した建物が建築され、完成後も適切に維持されるようにするため、各種申請の審査や検査、違反建築物の指導を行っています。また、災害や事故発生時の建物調査、耐震化の促進など、建築物の安全・安心を守る役割も担っています。さらに、近年課題となっている空き家について、市町村が地域の実情に応じた対策を講じられるよう支援しています。



都市整備部 建築安全課 企画担当 主任
鈴木 望菜美 suzuki minami

異動歴

平成25年4月採用	都市整備部 川越建築安全センター 建築安全担当
平成26年11月	都市整備部 越谷建築安全センター 建築確認担当
平成29年4月	都市整備部 営繕課 建築第二担当
平成30年4月	都市整備部 営繕課 県営住宅建築担当
令和2年4月	都市整備部 川越建築安全センター 監察担当
令和5年4月	現所属

この事業のやりがい、魅力について

建築物を建てるための各種申請の審査、既存建築物の違反指導業務などに携わっています。案件ごとに建築基準法等の条文や取扱いを確認することで、法律の知識が身につきました。

建築行政は、新築する建築物の法適合だけではなく、既存建築物の適切な維持管理の指導も行います。この仕事を通じて、埼玉県の安全・安心なまちづくりにつながることにやりがいを感じます。



産業労働部 産業技術総合センター 生産技術・事業化支援室
機械技術担当 技師

女鹿 貴信 mega takanobu

異動歴

令和2年4月採用 現所属

現在の仕事内容について

産業技術総合センターは、企業が抱える技術的な課題解決のために、技術支援や研究開発支援などを行っています。たとえば、企業からの依頼を受けて原材料や製品などの分析・測定等の各種試験や、企業の研究開発などに必要な分析機器・測定機器の貸し出しを行っています。

私が担当している業務は主に3Dプリンタの利用に関する技術支援です。具体的には、企業から「3Dプリンタでモノを作りたい」という相談を受けた場合、まずは3Dプリンタの専門的知識をわかりやすく説明をし、作製した見本品を見てもらうなどイメージをしてもらうことから始め、最終的なモノの完成までを支援しています。

企業からの依頼を受け、どの機器や試験が適しているのかを判断するには、知識と経験が求められます。企業のニーズに沿ったものを提案し、企業の技術力の強化・発展に貢献できたときにやりがいを感じます。

職場の雰囲気について

私が所属している産業技術総合センターは、約80人の職員が在籍しています。皆が協力的で優しいので、他の職員と連携しながら仕事を進めるときも、安心して取り組むことができます。

また子育て中の職員も多く、フレックスタイム制や在宅勤務を活用しながら、仕事と育児を上手に両立させています。

埼玉県職員を志望した理由について

私はもともと東北の出身でしたが、大学進学を機に埼玉県に来ました。地元のようなあたたかい街並みや自然がたくさんあり、派手さはなくても住み良い埼玉県を好きになったため、埼玉県のために働きたいと思い、埼玉県職員を志望しました。埼玉県職員になってから、業務を通じて埼玉県の新たな一面を知る機会もあり、多くのことを学んでいます。



下水道局 下水道事業課 建設担当 主任

田中 康友 tanaka yasutomo

異動歴

平成31年4月採用 福祉部 総合リハビリテーションセンター
管財・用度担当

令和3年4月 下水道局 下水道管理課
(埼玉県下水道公社 中川支社 運転管理担当)

令和5年4月 現所属

現在の仕事内容について

下水道事業課では流域下水道の工事発注計画、施設の建設、災害対策に関する業務等を行っています。中でも私は、下水道施設を計画的かつ効率的に管理するための計画(ストックマネジメント計画)の策定を担当しています。施設の老朽化の状況を把握し、それが下水処理機能へ与える影響や不具合発生確率などを加味してリスク評価を行い、改築・更新の優先度を計画に反映させています。策定した計画によって、将来の下水道施設の改築更新のタイミングや事業費が決まるので、非常にやりがいのある仕事です。

職場の雰囲気について

分からないことがあれば気軽に上司や先輩に相談ができる環境です。下水道局には一般行政職・設備職・総合土木職・化学職など多くの職種の職員が在籍しています。他の職種の職員と一緒に仕事をすることで、様々な業務に関心を持ち、視野を広げることもできます。

ワークライフバランスについて

令和5年に第一子が誕生し、育児休業を2か月間取得しました。埼玉県は男性職員の育児休業を推進している職場のため、サポート体制も充実しており、安心して育児休業を取得できました。また、年次休暇等も計画的に取得できるため、ワークライフバランスを保つことができます。

one day schedule

8:15 出勤
8:30 1日のスケジュール確認 メールチェック
9:00 入札事務の書類作成
10:00 改築工事計画の検討
12:00 昼食
13:00 事業進捗状況確認
15:00 下水道事務所との計画策定に関する打合せ
17:00 翌日のスケジュール確認
17:15 退庁



県土整備部 杉戸県土整備事務所 河川担当 技師

新井 康平 arai kohei

異動歴

令和5年4月採用 現所属

現在の仕事内容について

河川の改修工事や維持管理業務などの発注、現場監督を行っています。工事や委託を受注した建設会社の現場代理人と現場状況や進捗の確認を行い、一緒に業務を進めていきます。自分が発注、現場監督を行った業務が完了に近づいていき、その様子が目に見える形になっていくことにとてもやりがいを感じます。

職場の雰囲気について

入庁前は、人間関係や仕事についていけるかなど不安ばかりでした。しかし、私の職場は経験豊富なベテラン職員から若手職員までバランスよく在籍しており、皆が温かく接してくれ、わからないことがあると丁寧にアドバイスをしてくれます。とても居心地の良い職場で、毎日楽しく働くことができます。

ワークライフバランスについて

入庁したばかりの職員は休暇を取得しづらいイメージがありましたが、上司や先輩から「休暇は気兼ねなく取得してね」と言っていたので、十分すぎるほど休暇を取得できています。普段休みが合わない友人とも休暇を使って会うことができ、想像以上に仕事とプライベートの両立ができています。

今までの仕事で印象に残っていること

私は総合土木職の職員ですが、大学の専攻は土木ではなかったため、入庁当初は何もわからない状況でした。建設会社の現場代理人と初めて打合せをしたときは、話に全くついていけず頭が真っ白になりましたが、わからないことを上司や先輩、建設会社の現場代理人に聴くと、とても優しく丁寧に教えてくれました。周りの方に支えられながらではありますが、業務について自分の言葉で説明できるようになったときに、成長していると実感します。



農林部 加須農林振興センター

農村整備部 県営事業担当 技師

落合 美佳 ochiai mika

異動歴

平成31年4月採用 農林部 春日部農林振興センター
農村整備部 整備支援・管理担当

令和4年4月 現所属

現在の仕事内容について

田んぼの区画拡大や農作業道の拡幅、用排水路を整備するほ場整備工事を担当しています。工事完了後、地元農家の方から「水路を整備したことで取水がしやすくなってお米を作りやすくなった」といった嬉しい声をいただいたことで、埼玉県の農業の発展に貢献できていると実感でき、やりがいを感じます。

職場の雰囲気について

業務で分からないことがあると周りの職員が丁寧に教えてくれるので、安心して働くことができます。また、上司や先輩が部下のことをよく気にかけてくださるため、コミュニケーションも活発で、風通しの良い職場だと思います。

ワークライフバランスについて

1年に20日付与される年次休暇は毎年全て取得できており、とても休暇の取りやすい職場です。また埼玉県では結婚した職員に対し「結婚休暇」という特別休暇が7日付与されます。私は昨年結婚したので、結婚休暇を活用して新婚旅行を楽しみました。時間外勤務は必要最小限で済んでおり、プライベートと仕事の両立ができています。

one day schedule

8:15 出勤
8:30 1日のスケジュール確認 メールチェック
9:00 工事軽微変更の書類・図面作成
12:00 昼食
13:00 市と工事に係る打合せ
14:30 地元から工事に係る相談
16:00 打合せ・相談に関する書類作成
17:20 退庁



都市整備部 公園スタジアム課 技師
(公益財団法人埼玉県公園緑地協会 技術部施設担当 技師)

新村 侑菜 niimura yuna

異動歴

平成30年4月採用	都市整備部 営繕課 大規模施設担当
令和2年11月	都市整備部 越谷建築安全センター 建築確認担当
令和5年4月	現所属

ワークライフバランスについて

休暇を取りやすい雰囲気があるため、プライベートの予定も立てやすいです。長期で休暇を取得し、海外旅行や温泉旅行に行き、リフレッシュすることもあります。
また、時間外勤務もほとんどないので、仕事がある平日の夜も趣味の時間を確保することができています。

埼玉県職員を志望した理由について

生まれ育った埼玉県で建築に関わる仕事がしたいと思い埼玉県職員を志望しました。将来は、まちづくりや景観に関わる仕事に携わりたいと思っています。
埼玉県職員は定期的に異動するため、営繕や建築行政、都市計画などの業務に携わることができ、多様な経験ができることも魅力の一つだと思います。

今までの仕事で印象に残っていること

初めて配属された営繕課で、公園の管理棟の新築工事を担当したことです。工事の途中で設計が変更になったことや、多くの人が関わっていたため予算の調整などに奮闘しました。異動になり、最後まで携わることはできませんでしたが、完成後に活用されているところを見た際はうれしい気持ちになりました。

埼玉県職員を目指す方へメッセージ

入庁した当初はこの仕事を続けることができるかと不安でしたが、技術や専門的知識を学ぶ研修も多くあり、周りの職員にサポートしていただきながら現在も続けることができています。
筆記試験はもちろんですが、面接試験で自分の思いをきちんと面接官に伝えることが大切だと思います。一緒に働ける日を楽しみにしています。



子育て支援制度を活用

県土整備部 道路街路課 県道担当 技師

総合土木職

井村 優美 imura yumi

異動歴

平成28年4月採用	県土整備部 さいたま県土整備事務所 河川・鴻沼川改修事業担当
平成31年4月	現所属

育児休業の取得前に感じていた不安と復帰後の感想

つわりがひどく、休むことが多かったので、仕事を思うようにこなせない日々が続き、周囲に負担をかけてしまうことが不安でした。しかし、周囲の職員が親身になって業務を手伝ってくださったり、子供が出来た時のエピソードを話してくださったおかげで心が軽くなりました。また、妊娠してからすぐ、私の仕事については担当内で共有しながら進めることができたため、スムーズに産休に入ることができました。産前勤務最後の日には、温かく送り出してくださり、とてもうれしかったです。
産後の復帰について、長く育児休業を取得すると仕事の感覚が薄れてしまうのではないかと不安があり、子供が0歳のうちに保育園に入れて、早めに職場復帰しました。産前に復帰の希望時期や、復帰後の時短勤務希望を伝えていたため、復帰後の仕事は時短勤務が可能な量に調整してくださっていました。時短勤務の制度や周囲のサポート体制のおかげで、復帰後も無理なく子供と一緒にいる時間が取れていると思います。

埼玉県職員を目指す方へメッセージ

子育てに関する制度が充実しているだけでなく、職員がお互いサポートし合う雰囲気があり、実際に制度を有効に活用することができます。男性も育児休業を取得しやすく、皆さん無理なく子育てをしています。個人のライフステージに合った働き方を見つけて、キャリアを積み上げることができます。育児や趣味など、プライベートを充実させながら、一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

one day schedule

7:45 保育園に子供を預ける	15:00 道路整備に関する 協定文書の作成
8:15 出勤	
8:30 1日のスケジュール確認 メールチェック	16:15 退庁(部分休業1時間)
9:00 庁内関係課との打合せ	17:00 保育園にお迎え
10:00 予算に関する資料作成	17:30 帰宅
12:00 昼食	18:00 夕食
13:00 問合せに関する調査、回答	19:30 入浴
14:00 国担当者との意見交換	21:00 就寝(寝かしつけ)

経験者職員採用試験を経て入庁

都市整備部 営繕課 建築第一担当 技師

建築職

鳴坂 拓 narusaka taku

異動歴

令和4年4月採用	現所属
----------	-----

前職の仕事内容とその経験がどのように生きているか

前職の民間企業では新築の戸建住宅・賃貸マンション・オフィスビル・テナントビルの設計をしていました。現在は、主に児童養護施設・高等学校などの県有施設の改修工事における工事・設計監理をしています。そのため、前職で培った設計の知識や経験は工事・設計監理をするときはもちろんのこと、現場で対応する際などにも生きています。
また、これまでは改修工事の経験が全くなかったのですが、周囲の仲間に教えてもらいながら業務をこなし、逆に前職での知識や経験を伝えたりすることで、自分だけでなく仲間と共に知識向上ができていていると思っています。

埼玉県庁への転職を決意した理由

結婚を機に埼玉県に転居したことや、子供が生まれたときにワークライフバランスの取れた働き方をしたいと思ったことがきっかけです。埼玉県は子育て支援制度が充実しており、育児休暇を取得しやすい点に魅力を感じました。
また、様々な職種の職員がいるため、新たな視点や知識を得ることができるのではないかと考えたことも転職を決意したきっかけになりました。



現在の仕事内容について

現在の仕事は県有施設の改修工事における工事・設計監理、工事・設計発注業務などです。県有施設はひとつとして同じものはなく、また利用する人や環境も異なるため、工事の際は最適な方法を考える必要があります。そのため工事が完成し、施設の方々に喜んでいただけたら、満足のいく工事ができた際には非常にやりがいを感じます。

埼玉県庁に入庁して、働き方がどのように変化したか

職員同士がサポートし合う職場風土が根付いているため、休暇を取得しやすく、無理のない働き方ができるようになりました。県職員になる前は常に全力疾走してきた感覚だったのですが、現在は途中で一息ついて落ち着くことができます。そうしたことができるのも、働き方がきちんと整っており、全員でカバーをしあえる環境だからだと思います。子供の体調不良の際もテレワークなどで対応でき、とても働きやすいと感じています。



都市整備部 越谷建築安全センター 建築安全担当 技師

五島 浩己 itsushima koki

異動歴

令和3年4月採用	現所属
----------	-----

現在の仕事内容について

主な業務は、窓口での建物に関する証明書の発行や書類審査です。書類審査では、マンションや工場等の大規模な建物を建てる時にどれだけ環境に配慮しているかを評価したり、建物の管理者から提出される調査報告書から維持管理に問題がないかを確認しています。他にも解体工事のパトロール等の出張もあり、幅広く業務を行っています。
建築職のため、専門的な内容がほとんどですが、仕事をこなしていくうちに知識が増えていくことがモチベーションにつながっています。また、県民の暮らしを安全・安心なものにするために働けることが今の業務の魅力です。

職場の雰囲気について

職場に同年代が少ないため、仕事についていけるか不安でしたが、周りは優しい先輩ばかりで、仕事だけでなくプライベートの相談にも乗ってくださり、入庁時から心強かったです。

今までの仕事で印象に残っていること

建築基準法に基づき、建物に違反等がないかを確認する業務を初めて担当した時のことです。現地調査や写真から状況を判断して一つずつ確認するのですが、わからないことが多く、スムーズに進めることができずに苦労しました。
しかし、先輩からのアドバイスや過去の事例、専門書で勉強し、ようやく業務が完了したときには大きな達成感を得ることができました。また、難しい業務に挑戦したことで、知識が増えただけでなく、必要な情報を資料から見つけ出す能力も身についたので、自分の成長につながったと思っています。これからも失敗を恐れず、いろいろなことに挑戦したいです。

one day schedule

8:15 出勤	12:00 昼食
8:30 朝礼	13:00 提出された書類の審査 電話・窓口対応
8:35 1日のスケジュール確認 メールチェック	16:00 現場調査のための準備
9:00 現場調査の報告書作成 電話・窓口対応	17:30 退庁
10:00 担当内打合せ	

Q1 職場の雰囲気は良いと思いますか？

和気あいあいとしています！

96%

そう思う！ ややそう思う！

Q2 同僚と気軽に話ができていると思いますか？

YES

Q3 職場に信頼できる上司や先輩がいますか？

頼りになる方々ばかり！

95%

そう思う！ ややそう思う！

Q4 職員同士が協力し合って仕事をしている職場だと思いますか？

チームワークは抜群！

90%

そう思う！ ややそう思う！

／入庁3年以内／

先輩職員に聞いた7つの本音

Q7 休暇は取得しやすいと思いますか？

YES

フレックスタイム制があるのも助かる！

推しのライブがあってどうしても…！

Q6 1か月あたりの時間外勤務はどのくらいですか？

58% 10時間未満

20% 10時間以上～20時間未満

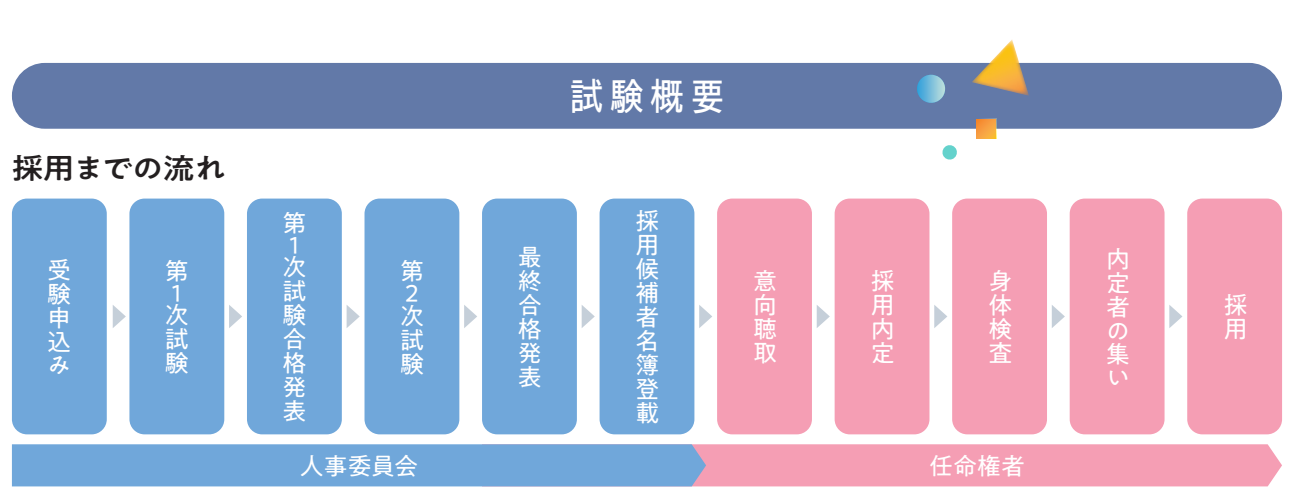
平日の夜も趣味の時間を楽しめます！

Q5 自分自身が成長できる職場だと思いますか？

90%

そう思う！ ややそう思う！

いろんなことに挑戦できます！



試験内容

令和6年度から、すべての試験区分で、設備・総合土木・建築の教養試験を廃止しました！

試験区分	試験職種	試験種目	
		第1次試験	第2次試験
上級試験 (大学卒業程度)	設備 総合土木 建築	専門試験 (多肢選択式)	論文試験 人物試験(面接試験)
初級試験 (高校卒業程度)		専門試験 (多肢選択式)	作文試験 人物試験(面接試験)
経験者試験 (社会人対象)		論文試験	人物試験(面接試験)

注1 最終合格者は第1次試験と第2次試験の結果を総合して決定します。(一定の基準に達しない試験種目がある場合は、他の成績にかかわらず不合格となります。)

注2 試験日程や受験資格などの詳細は受験案内にてご確認ください。

注3 各年度の職種別の採用予定者数は、ホームページや受験案内に掲載します。職種によっては、年度により採用試験が実施されない場合があります。

注4 設備、総合土木、建築以外の職種の採用試験については、それぞれの受験案内にてご確認ください。

よくある質問

Q 出身校、性別や職歴の有無などによる有利、不利はありますか？

A 採用試験には、出身校、性別や職歴の有無などによる有利、不利は全くありません。受験資格を満たしていれば、全ての人に平等です。

Q 過去に出題した問題は公表されていますか？

A 過去の問題は公表していませんが、試験の例題を人事委員会事務局ホームページに掲載しています。また、例題は県政情報センター(県政資料コーナー)で閲覧できます。

Q 勤務時間・休暇制度はどうなっていますか？

A 勤務時間は原則として午前8時30分から午後5時15分までです。原則完全週休2日制で土・日が休みです。ただし、勤務時間や休日が変則的な職場もあります。年次休暇は1年に20日(4月1日採用の場合は15日)で、残日数のうち20日を限度として翌年に繰り越すことができます。また、必要に応じて30分、1時間単位での取得も可能です。その他、夏季休暇5日、結婚休暇7日などの特別休暇や、育児休暇・介護休暇などの制度もあります。

Q 採用された場合、配属先はどのように決まりますか？

A 任命権者が最終合格者に意向聴取を行い、希望する仕事や勤務地などを伺ったうえで決定します。全員が必ずしも希望どおりに配属されるわけではありませんが、勤務地は自宅からの距離などを考慮して決定されます。

Q 人事異動はどのように行われますか？

A 人事異動のサイクルはおおむね3～4年となっています。人事異動にあたっては毎年、「自己申告」という制度で職員全員から異動についての意向を聞いています。また、挑戦したい仕事を自ら提案したり特定の仕事に応募できる「職員応募」という制度もあり、希望するキャリア形成を実現するチャンスがあります。

Q 昇任はどのように行われますか？

A 採用されると「技師」(事務系職種の場合は「主事」、経験者職員採用試験の場合は「技師(主事)」又は「主任」となります。その後の昇任は職種ごとに、昇任試験や勤務実績に基づく公平な選考により行われています。